



読解力育む実践 教員12人が体験

指定校の敦賀・黒河小

本年度NIE実践校に指定された敦賀市黒河小で7日、新聞活用の意義や授業事例を学ぶ教員研修会が開かれた。12人がワークショップなどを通して読解力や書く力を高める新聞活用法を体験した。

講師の徳島泰彦福井新聞社NIEコーディネーターは「今は

社会とつながる学びが大切。新聞の活用は世の中の動きを学びながら豊かな語彙や読解力が身



「言葉の貯金箱」を体験し、実践事例への理解を深めた教員研修会7日、敦賀市黒河小

につく」と説明した。記事を活用した俳句作りや見出し作り、視写などの実践例を紹介し、「気軽に手軽に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

ワークショップで教員は気になる見出しの言葉を切り抜き、シートに貼り付け自分の思いを表現する「言葉の貯金箱」を体験した。「理想の暮らし」「今やりたいこと」など身近なテーマで興味や関心のあることを発表した。ストーリーを組み立てることで思考力や表現力が育まれる効果を確認した。

平池一樹教諭は「遊び感覚で取り組める内容から本格的な学習事例まで、さまざまな活用法が分かった。まずは児童が取り組みやすいものから始めたい」と意欲を話した。(大西崇弘)